

「あっこちゃんがないと始まらないから。待ってるから。そんな言葉がとても嬉しくて励みになりました」

長野県で地元おやじバンドのキーボードとして活動していた A さん。がんが発覚し、入院して手術を受けます。ところが、丁度そのタイミングで、本番が決まってしまいます。A さんは、なんとか抜け出してでもステージに立ちたいと思い、メンバーにもそう伝えますが、「まずは治療に専念すること」と言われてしまいます。

そしてその本番は、結局、ピンチヒッターが出ることに。A さんは自分が退院しても戻る場所がなくなるのではないかと不安になり、お見舞いに来てくれたバンドメンバーにそんな不安な気持ちを吐露します。

すると、メンバーの一人が言いました。

「大丈夫、あっこちゃんがないと、このバンド、始まらないから。」

その一言がとても嬉しくて、励みになったとのこと。